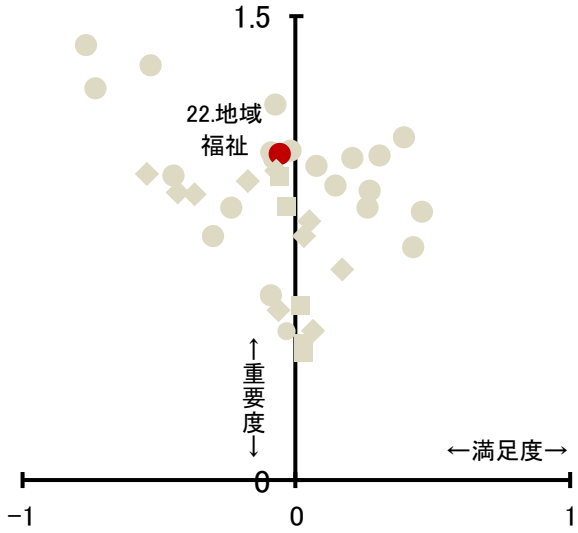
22　地域福祉

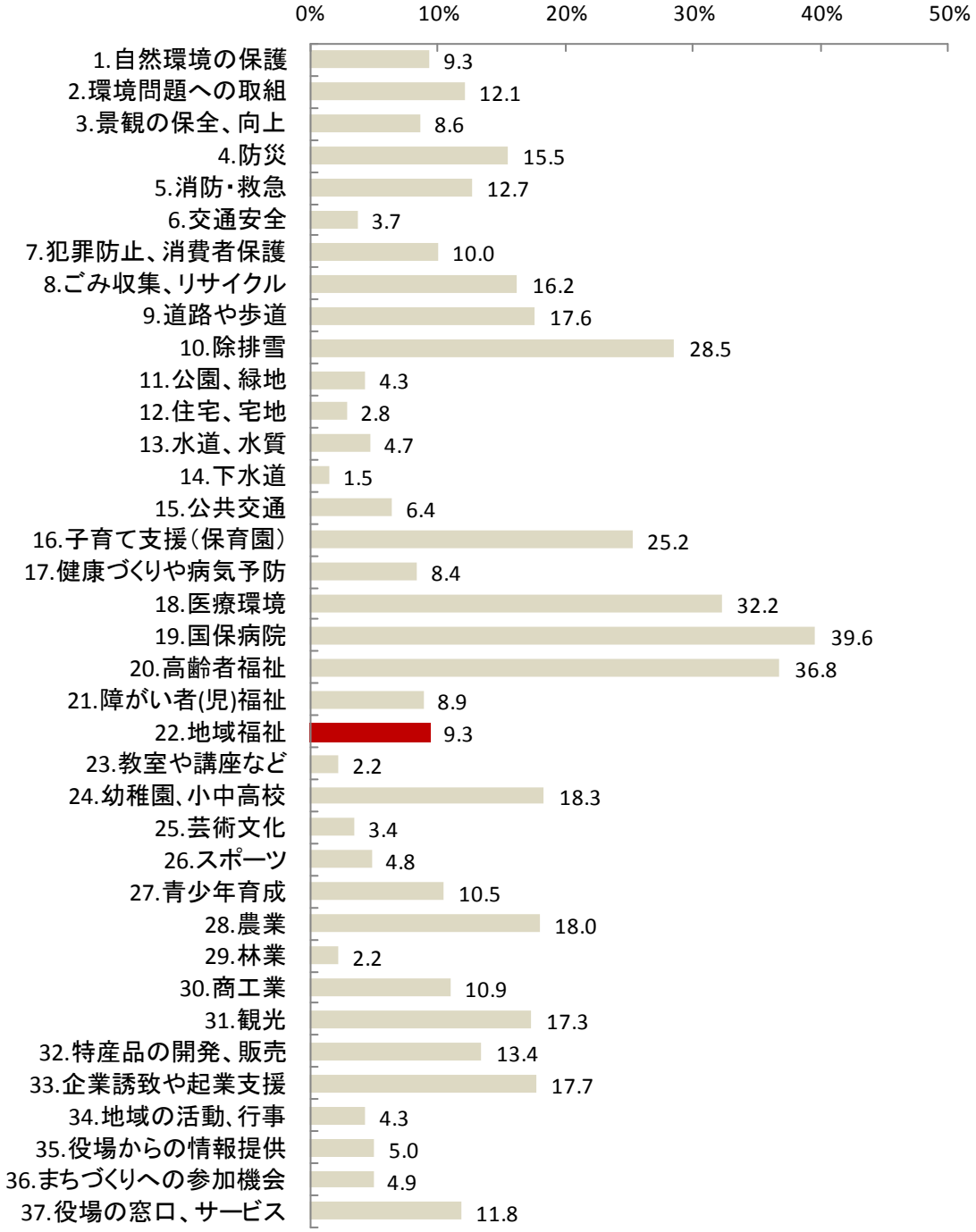
（１）関連グラフなど

【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

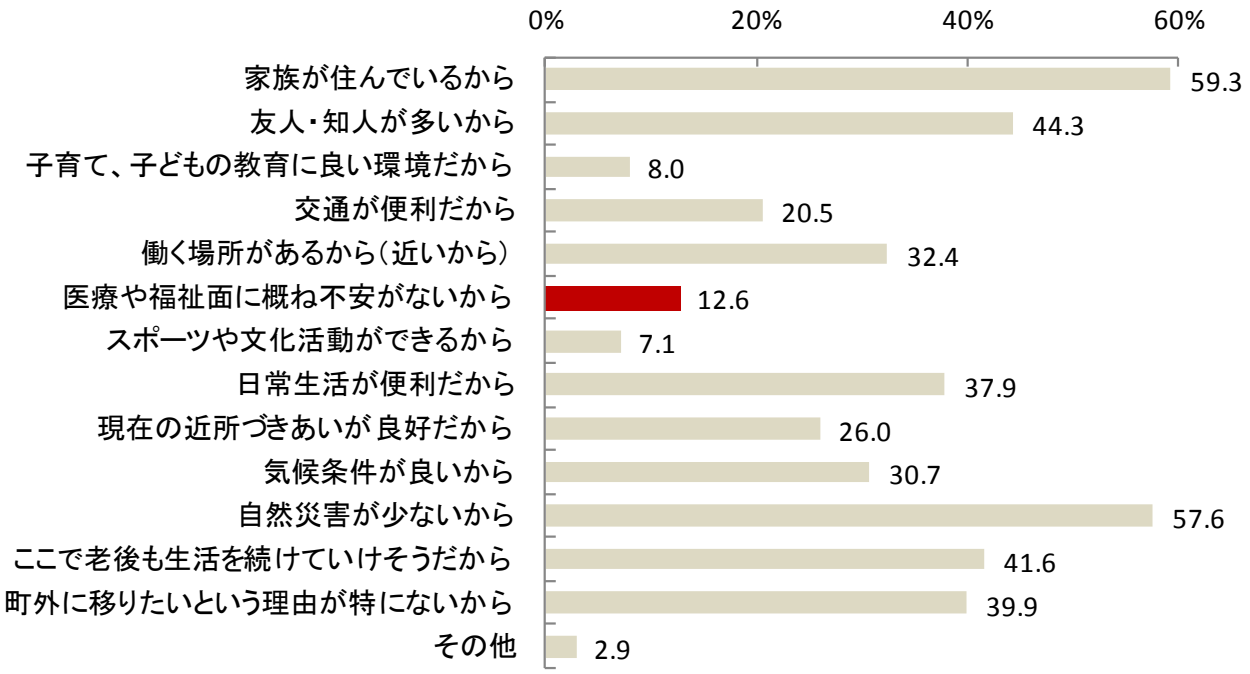
【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。



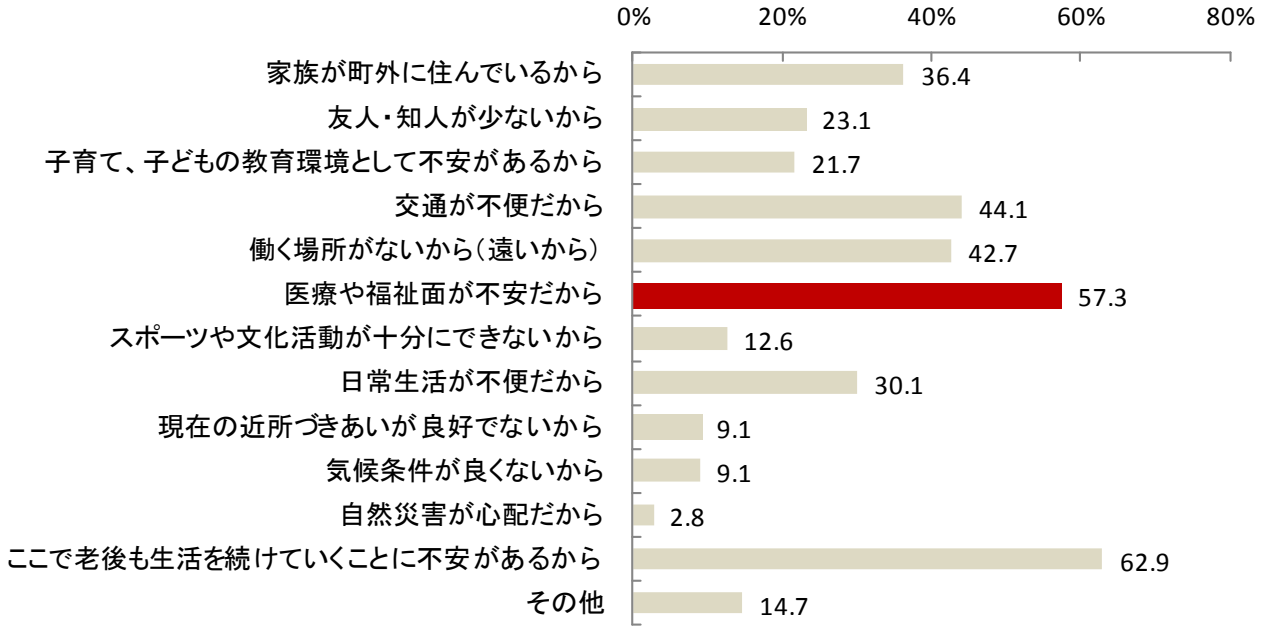
【問３】特に重要と思うもの（5つまで選択/町民813人）



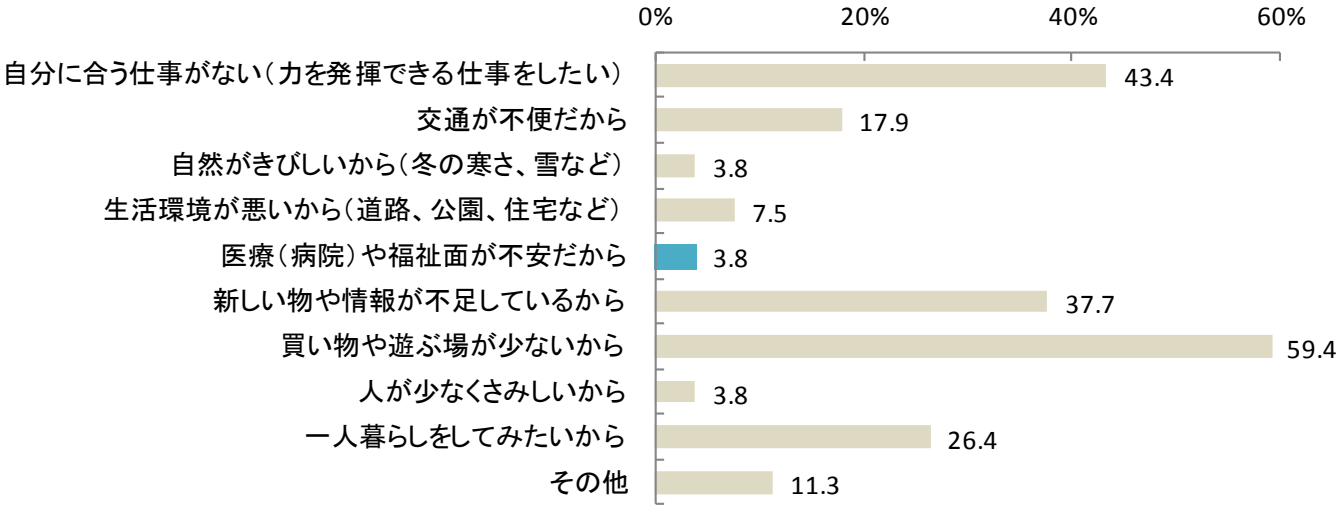
町民 【問4-①】町内に住み続けたい理由（すべて選択/589人）



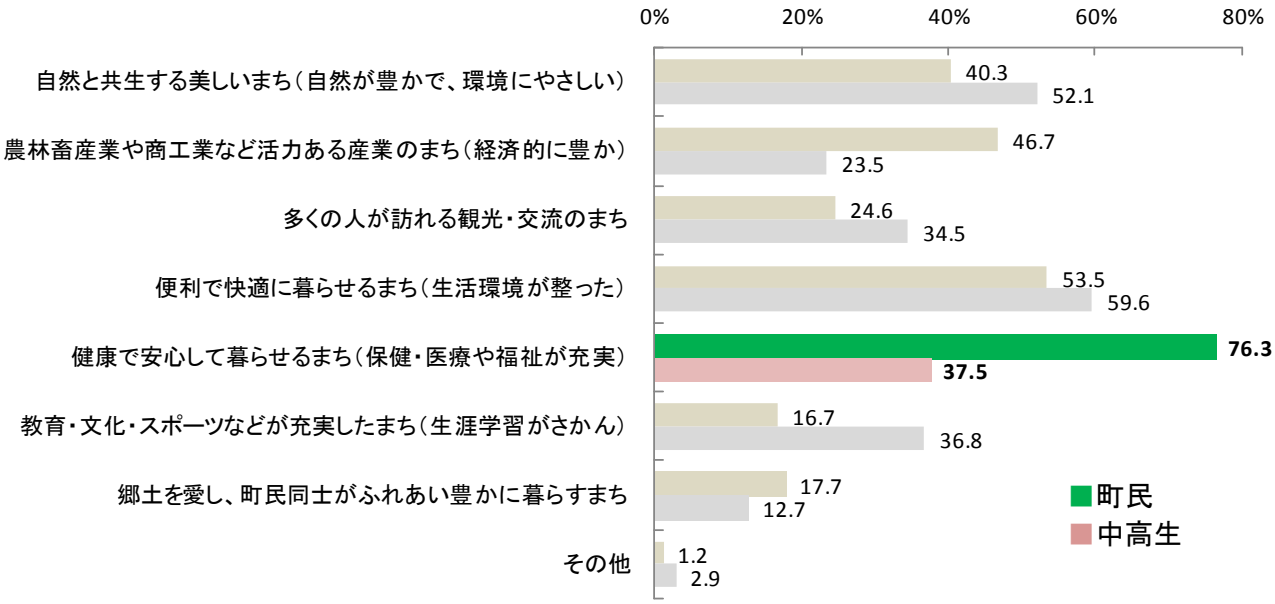
町民 【問4-②】町外に移りたい理由（すべて選択/143人）



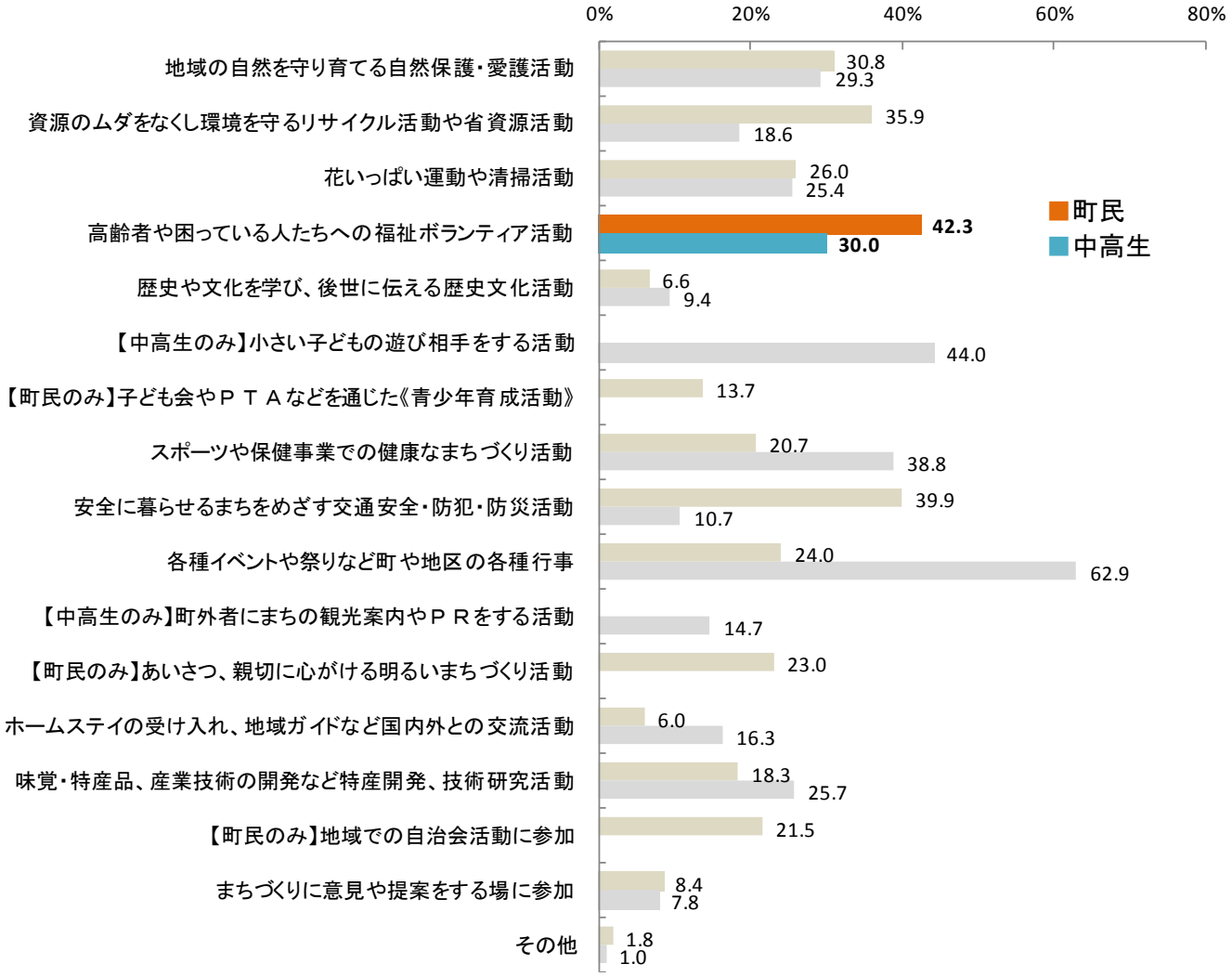
中高生 【問3-①】町外に住みたい理由（あてはまるものすべて選択）



【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）

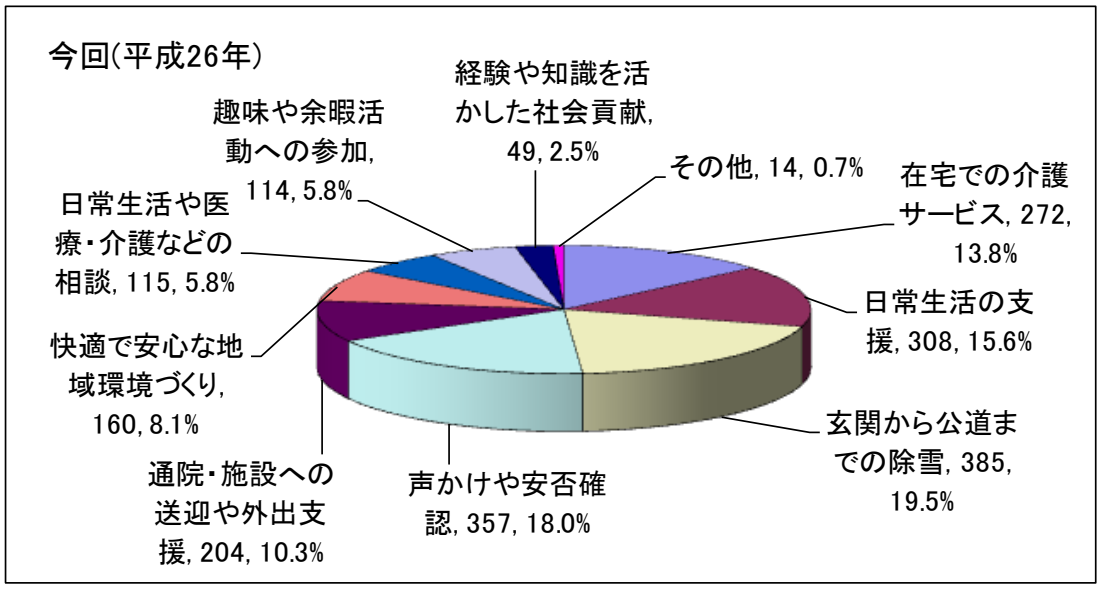


【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）

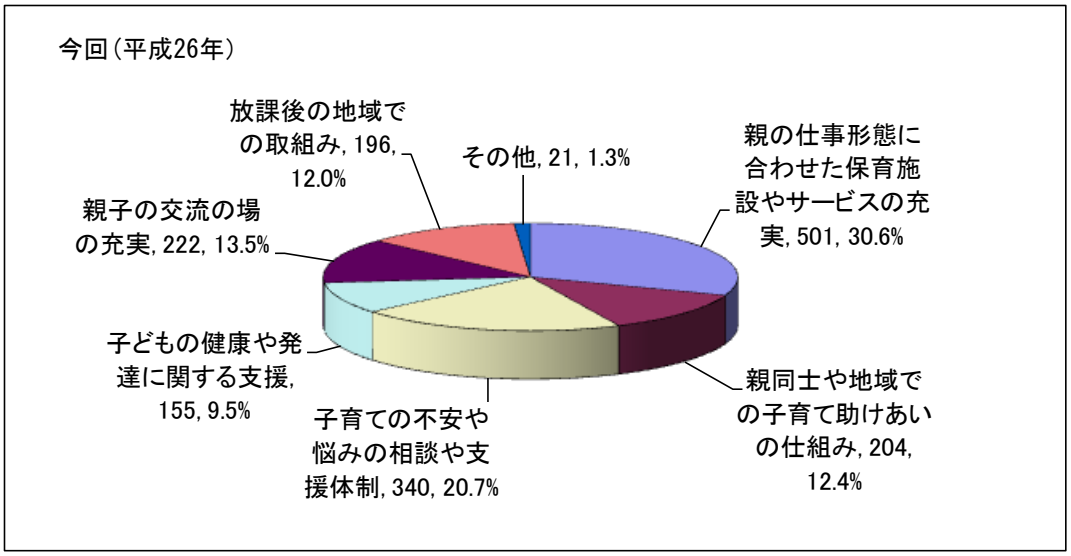


地域福祉に関するアンケート調査より（H26.5）

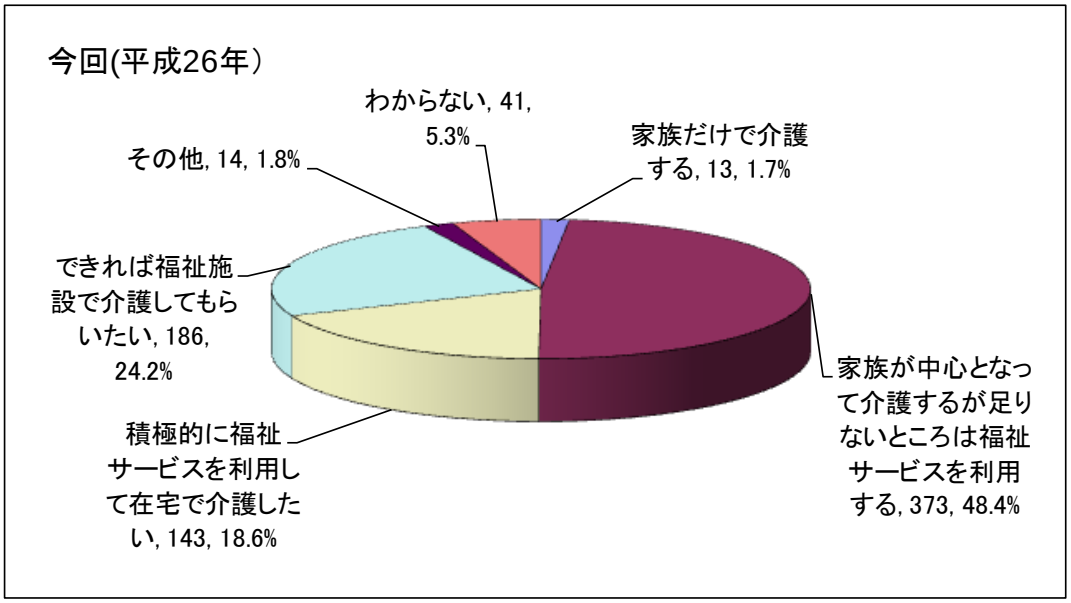
高齢者・障がい者の方々に対してどのような支援が必要だと思われますか



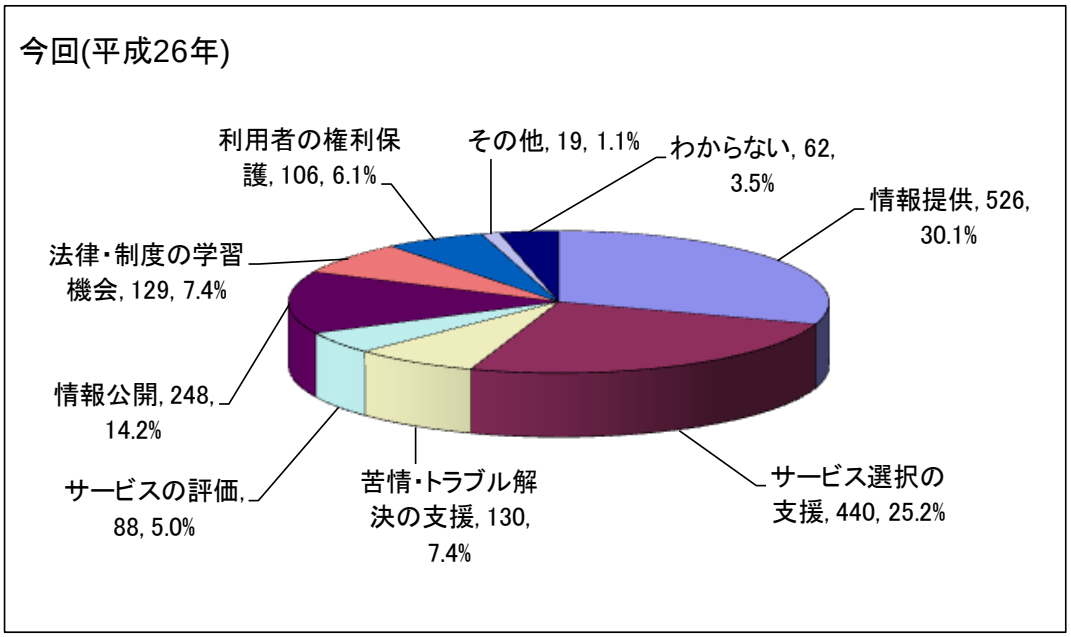
子育て中の家族等へどのような支援が必要だと思われますか



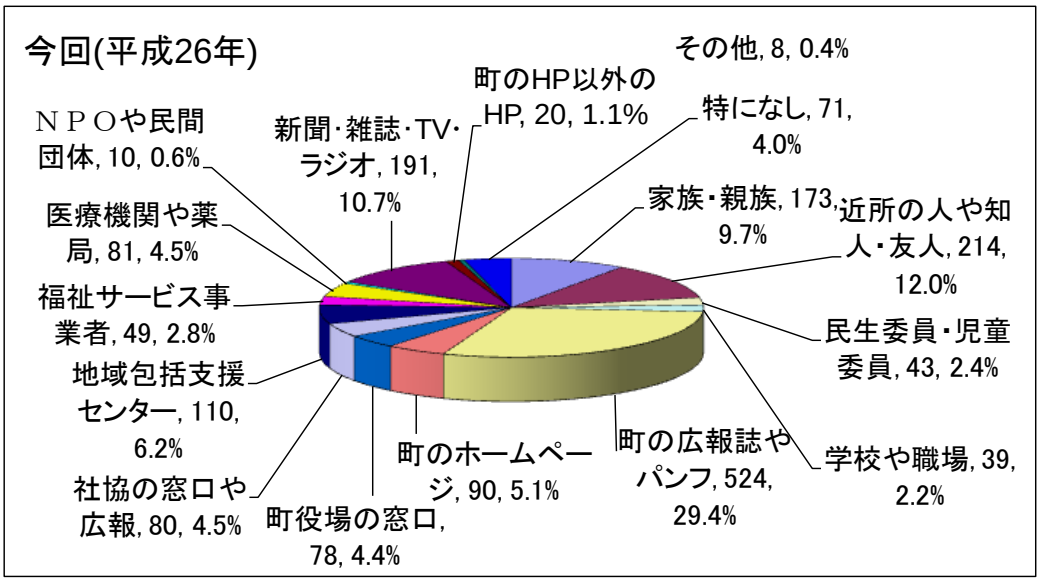
家族の誰かに介護が必要になった場合に、どのようにしたいと考えていますか



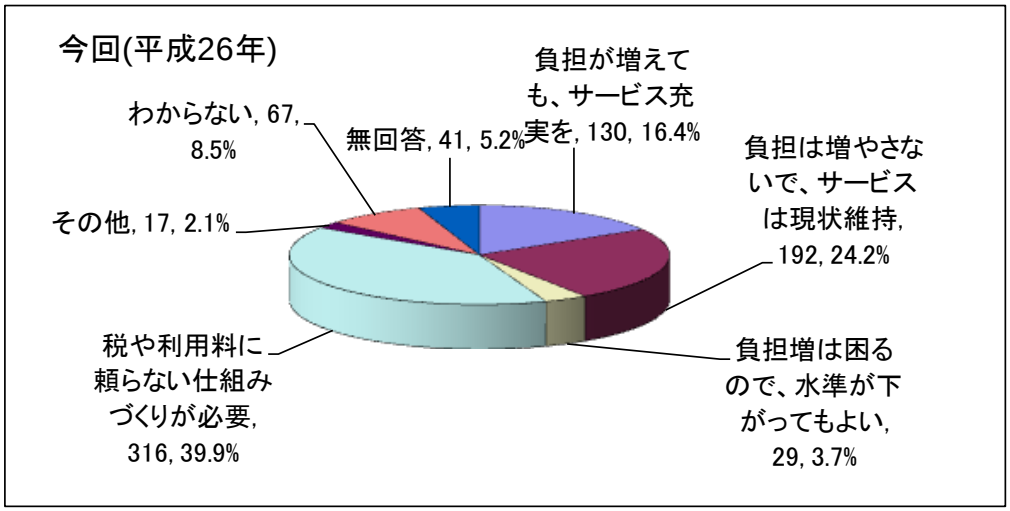
今後、町ではどのようなことに取り組む必要がありますか



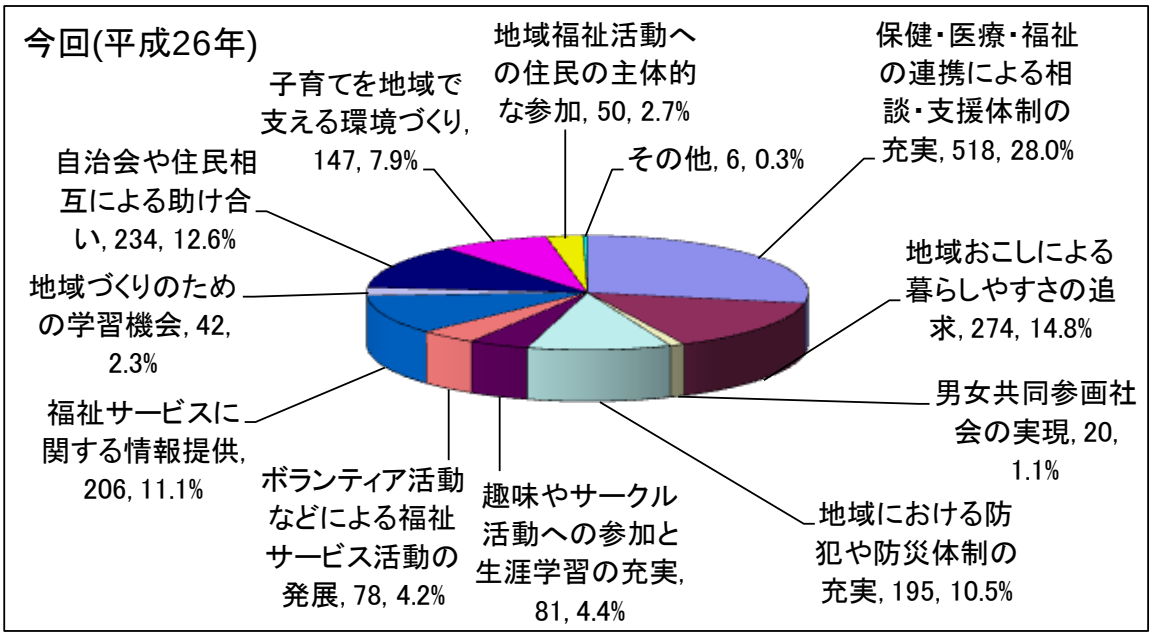
福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか



これからの福祉サービスのあり方



今後町が優先して取り組むべきことはなんですか



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
地域福祉を推進する体制づくり	地域福祉計画※の推進による地域福祉の充実	地域福祉計画策定により、地域住民ニーズの把握とともに、ボランティアの育成とそれぞれの役割の明確化による地域ぐるみの福祉を推進した。	情勢の変化により、次の事項を盛り込む事が必要となっている。 ・避難行動要支援者の把握 ・避難行動要支援者の情報共有 ・避難行動要支援者の支援 日常的見守り、緊急時連絡体制 ・北海道における生活困窮者自立支援法にともなう各種施策実施支援	第２期美幌町地域福祉計画策定中
	地域福祉活動の支援と充実	ボランティアセンターを通じた活動支援	介護保険における予防給付事業が平成 29 年度までに市町村の取り組みとなり、地域支援事業に移行する。	予防給付（訪問介護･通所介護）をボランティア支援により実施するための仕組み作りが必要。
地域福祉活動の推進	社会福祉協議会の活動充実と支援	正職２名、臨職２名、嘱託１名の人件費補助	認知症や障がい者等の判断能力不十分な方に対する財産管理や各種手続きを行う公的機関が必要となっている。	市民後見センター設置（社協）による人件費補助の増
	ボランティアセンターの充実と支援	臨職１名の人件費補助	ボランティアの高齢化にともない担い手の育成・支援が必要となっている。	社協職員による教員を対象とした福祉教育推進セミナー実施や指定校への活動助成
	たすけあいチームなど体制づくりと支援	地域福祉活動補助金として年額 60 万円を助成。 平成 21～25 年度に家庭用除雪機 17 台を購入し自治会やたすけあいチーム 13 団体へ貸与し地域の除雪の効率化と高齢者等の冬の生活の安全を確保した。	ボランティアの高齢化による担い手不足や原油価格高騰により除雪機の燃料代が増大している。	燃料代増加による補助金額の検討と現在 17 台の家庭用除雪機の適正な利活用を図る。

※地域福祉計画：子供から高齢者まで、障がいのある人もない人も、全ての人々が地域において、いきいきと自立した生活が送れるように、地域住民が参加し、共に支える仕組みを作る計画。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　○：職員

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ 幼稚園と老人ホームが一緒になった建物がある（お年寄りは子どもを見て元気になれるし、遊びを教えてもらえるから）

● ボランティアをするとポイントがもらえ、たまると逆に自分も利用することができる。（実践している町あり。）（女性・40 代）

● 高齢者でやっと杖をついて買い物に来ている人、帰りは荷物をどうやって持って帰るのか心配でも、今はやたらに声をかけても不審者に思われる時代。（女性・60 代）

○ 超高齢化社会を迎え、今まで以上に地域福祉の推進を図っていく必要がある。アクセス環境の充実・地域見守り活動の取り組みなど。通常、要支援者への対応や安否確認などを実施する際その参加者や担い手もほとんどは高齢者となってしまう。高齢者による子どもたちの見守り等の活動により子育て世代がこれに感謝し、地域活動の重要性などを実感できると、次に子育て世代が防災や福祉の地域活動の参加につながる、など多世代の参加による活動が必要。

○ 老人クラブと子供会合同イベントの開催